

産経新聞

平成20年(2008) 日刊23413号

1|28 [月]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2008
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)

フロント ランナー

一度栓を
抜いたワイ
ンの品質劣
化を防ぐ、
ワイン向け

抗酸化デバイス「WHYNOT」がフレッシュテックの主力製品だ。37歳の吉田英治社長が、この製品の中核となる空気中の窒素と酸素を分離する技術を開発し、平成14年10月に特許を取得。ワインバーなど飲食店向けに事業を拡大している。

「ワインは一度栓を抜くと酸化し、品質が劣化していく」(同社)。これまで、どんなワインセーバーも、酸化を防ぐことは難しく、ワインバーやレストランでグラスワインを販売する際の大きな障害となっていた。

「WHYNOT」は、「完璧に酸素を遮断する世界初の商品」(同)と胸を張る。専用のコルクチェンジャーを使い、酸素のない空間でコルク

「空気活用」市場の牽引役に

フレッシュテック

を抜き、プラグに付け替える。また、専用のシューターで窒素を注入しながらワインをグラスに注ぐ。ワインと窒素を交換しながら抽出を行うため、ボトルに残ったワインも酸化は始まらない仕組み。自らを数少ない製造業の若手ベンチャー企業と位置づけ、東京都大田区と協力し、埋もれている特許を海外に直接販売していきける体制づくりに参加している。

すでに自社のワイン向け製品は米国や韓国でライセンスビジネスを展開している。今後は、空気中の窒素と酸素を分離する技術を他分野にも応用するプロジェクトを進め、空気活用技術というニッチ市場でのリーダー役を目指す。

◆
本社 東京都千代田区▽設立 平成14年3月▽資本金3億5000万円▽従業員6人▽売上高2億円(19年12月期予想)